

八幡城太郎と俳誌「青芝」の人びと

～多摩の文学空間そのI～

会期：2008年
2月9日(土)～3月30日(日)

○入場時間：
午前10時～午後5時
(入場は午後4時30分まで)

○休館日：
2月11日を除く毎週月曜日、
毎月第2木曜日

「町田ゆかりの文学者展」 同時開催

戦後いち早く多摩地域で、俳人日野草城門の東京支部として俳句結社「青芝俳句会」を興し、俳誌「青芝」を創刊(昭和28年)した八幡城太郎の俳句活動と、「青芝友の会」の人びとを紹介いたします。



八幡城太郎 1912(明治45)年～1985(昭和60)年
(五十嵐千彦 撮影)

俳人。日蓮宗方運山青柳寺前住職。神奈川県相模原市生まれ。本名、神部宣要。俳句は嶋田青峰、義沢すくね、日野草城に学ぶ。俳誌「芝火」編集、「青芝」創刊。句集に「相模野抄」「念珠の手」ほか。「町田ペンの会」創設に野田宇太郎とともに尽力した。

【俳人】
秋元不死男、石川桂敦、角川源義郎、高木蒼梧、日高木子

【詩人・歌人】
井出直文、乾東一、岩江孝実、大木満郎、木佐東、近藤孝一、城藤孝、菅原美門、田中冬左、西光秋、野田光太郎、平野威馬、山本義雄、藪宮和雄

【小説家】
打木村治、蒲池久一、小野清之、沢田林久、十和田辰雄、那須野久、藤原須辰、福田清、細源清、眞呉源、三逸夫、八三義夫、和和芳恵、和田義徳

【美術家・随筆家・出版人ほか】
川上澄生、山本藤三、上高登、藤上澄生、山本昌三、木次郎、桂三郎

「青芝友の会」に参加した主な人びと

青芝



「青芝」185号

青芝



「青芝」202号

関連イベント

1 講演会

- ① 2月10日(日) 青柳寺に眠る文人たち／山本つぼみ氏／「阿夫利嶺」主宰
- ② 2月24日(日) 版画家 川上澄生と俳句雑誌「青芝」／河野実氏／町田市立国際版画美術館学芸員
- ③ 3月9日(日) 八幡城太郎と私／真鍋呉夫氏／小説家・俳人
- ④ 3月23日(日) 俳誌「青芝」の五十年／中村菊一郎氏／前「青芝」主宰

時間：午後2時～4時 会場：同館 定員：各100人(申込順)

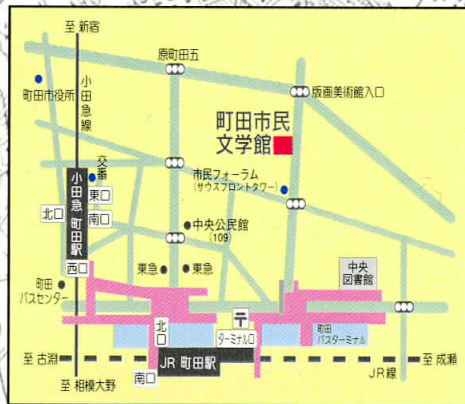
2 散策

「青柳寺に眠る文人と文学碑」

- 3月27日(木) 午後1時30分(時間厳守)・文学館展示室にお集まりください。
案内：当館学芸員
- 3 展示解説 会期中の毎週火曜日と第2・第4土曜日 いずれも午後2時～2時30分
解説：当館学芸員

〈申込方法〉

- ①②③④は1月21日より文学館カウンター、電話で受付ます。(先着順)
- 2, 3は申込不要です。文学館展示室にお集まりください。入場参加費は無料です。



JR横濱線「町田駅」町田ターミナル口から徒歩8分
小田急線「町田駅」東口から徒歩12分
町田市立中央図書館から徒歩3分

版画家 川上澄生による「青芝」の表紙

「青芝友の会」会員の版画家川上澄生は、創刊号から1972年まで表紙を担当した。

町田市民文学館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17
Tel.042(739)3420 Fax.042(739)3421